

# コロナ統計 実態とズレ?

感心する  
やうな人

重症者数はそれほど多くないのに、死者数は過去幾多のレベル。毎日公表される新型コロナウイルスの感染状況のデータを巡り、「こんな不思議な傾向が出てきた。新規感染者数にしても、厚生労働省の専門会議で「さうも多いのではないか」との見方が出でたり、実感把握が課題」になりつつある。（福本英司）

卷之三

### 「九代の入所者」複数

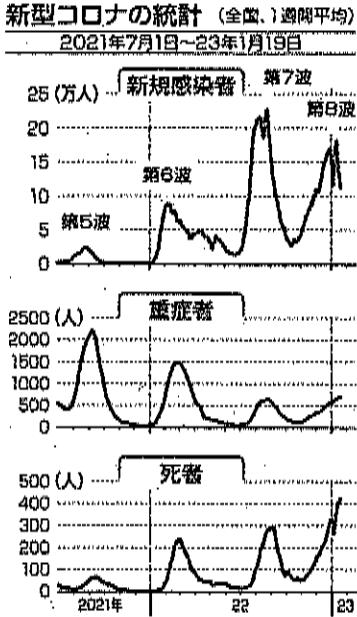
が感染したので病院に連れて行つたが、(入院ではなく)施設で対応してくださったと喜ばれた。愛知県内だ。

で特別加齢老人ホー（高齢者）が振り返る。

昨年十二月に施設でクラスター（感染拡散團）が発生。県内の病床使用率は高く、入院している状況だった。重症化リスクに冷や冷やしつつ、死者を出さずに乗り切ったところ。もし入所者が重症化して施設で亡くなっていたり、統計上は重症者に計上されないまま、死者に数えられただ的可能性が高い。入院後に

はEIMOなどが必要な重病の肺炎や、心臓や血管など基礎疾患の重症化で、なる人が増えたことされる。定額の終末も重症者数の少なさに影響しているとみられる。

さらに専門家会合のメンバーで、国立感染症研究所の鈴木基一・感染症医学センター長は「高齢者はCOPDなどの高齢医療を希望しないケースも多い。やむを得ず高齢という状況に置かれて



リスクを過大、過小に評価の恐れ

圖  
登  
錄

統計と実験のすれば、新規感染者数にある。

いのか格別な心配」と  
る。

が判明しても、医療機関にが、「療養解除後の死」は行かない人は把握できなきらんと把握されて「い」（県担当者）のが実態だ。

鈴木氏は「死者数が過去最多のレベルとなっている第一の理由は感染者数の増加」と指摘。その上で、感染者の把握方法についても、「感染しても発症しない人や発症しない人も増えている」と指摘。日々の報告数（統計）だけでは感染者数の全体をつかむのが困難」と現状を説明する。

専門家会合では死者数についても、入院中や療養中の死亡は統計に計上されるが、こと発熱した。

報（感染制御学）は「統計と医療解除後の死」はどちらかと問題が出ている。医療解除後の死が「感染がされると感染のリスクや対策の効果を過小化」と指摘。その上で、感染者の把握方法については、「感染しても発症しない人や発症しない人も増えている」と指摘。日々の報告数（統計）だけでは感染者数の全体をつかむのが困難」と現状を説明する。

専門家会合では死者数についても、入院中や療養中の死亡は統計に計上されるが、こと発熱した。

## 今春の5類移行 きょう首相指示

岸田文雄首相は新型コロナウイルスの感染拡大法上の位置づけについて、季節性風が緩和され、従来の感染対策は大きく転換する。複数の政府関係者が十九日、  
けを絶対にする」として、医療活動や社会活動に対する規制措置を緩和され、「五類」へ引き戻す意向を面  
對策は大きく転換する。複数の政府関係者が十九日、

い人かいとよまれる。されば、要知県内の名古屋、岡崎市以外では、自分で登録する仕組みがない。「施設の検査キットで感染エングル感染症」の位置付けで、協議会、今春の終電を見据え具体的な検討を指示す。は厚生労働省の感染症部会で磨きの懇意な面接者。正式に決める。政府内では四

**新型コロナの感染状況** 新規感染者数は2022年夏の流行、第7波が1日22万人余（一週間平均）で最多だった。重症者数の最多は21年夏の第5波が同2200人余で、死者数は現在の第8波が同500人余で過去最大。第6波以降のオミクロン株は感染力が強いとされ、新規感染者数が大幅に増えた。

第三波では高齢者施設のクラスター（感染者数）が昨年12月中旬の一週間に784件（上り、過去最多だった昨年10月下旬の220件）迫った。厚生労働省のデータによると、令和二年17日以上となり年代が分かっている人の約98%が90代以上だった。